

蛇喰山崩落跡他



濁流によってつくられた大きな山の割れ目

雨は降っていないが重たそうな曇り空。第三堰堤。自生していたアケビをいただく。ほんのりのずいぶんと久々な甘さ。前回ここを訪れたのは雨の降っていた時。川の流れに雨が落ちて、ほんの少し川の水が増えることを肌で感じるような場所だった。今回は前日の雨が濡らした黒曜石のガラス質が微妙に光をはね返している。濁流によってつくられた大きな山の割れ目に自然の脅威を感じながらその間を登っていくと、崩れそうな土を繋ぎ止めるように木の根が張り出している。根よりも下から木と空を見上げる。空がすごく近い。椎の巨木。3度目にして初めて雨が降っていない。木の間から差す光が、あちこちに出来はじめた小さな苔をやわらかく照らす。萬城の滝。滝近くの断崖を見上げる。火山の面白さをそのまま肌で感じる岩の姿は、長い年月というより不思議と新鮮さを感じた。15時頃、ようやく日が差しはじめた。

